

ホーム

横浜

川崎

相模原・東京多摩

県央

横須賀・三浦

湘南・県西

藤沢版

掲載号：2018年5月4日号



認定NPO法人「おもしろ科学たんけん工房」の副代表・藤沢地区代表を務める

柴田 憲男さん

湘南台在住 80歳

科学の面白さ、伝えたい

○…16年前の立ち上げ当初から携わってきた。「学問としてではなく、子どもたちに科学の面白さを直に体感してもらおう」。そんな志で集まった数人の集まりは今や200人を超す会員を擁し、年間のべ150講座を開く組織に成長した。会場確保や人集め。軌道に乗るまでは紆余曲折の道のりだったが「各メンバーの努力あってこそ。その積み重ねが今につながっている」と目を細める。



○…日本ビクターで勤め上げ、音響機器開発の第一線に立ち続けてきた。今もレコードの愛好家から親しまれる「シバタ針」は、現役時代に自らが開発を手掛けたものだ。体験塾への参加は、発起人の一人だった会社の先輩に誘われて。定年退職後、技術畑で培った経験を生かし、地域向けに講座を開こうとしていた矢先だったこともあり、二つ返事で快諾した。

○…レモンで電池を作ったり、ソーラーカーや万華鏡を作ったり。講座のほとんどはメンバーが独自に考えたもので、本番に向けては入念なりハーサルを重ねる。原理を教えるお話はほどほどに、工作の時間をたくさんとって。会場に集まった子どもたちが物理や化学の仕組みを理解し、実験に成功すると一様に目を輝かせる。そんな瞬間が何よりのやりがいだ。「教えること自体が目的じゃなく、科学への興味を持ってもらいたい。そう考えてずっとやってきた」と感慨深げに語る。

○…「子どもたちを楽しませるにはまず自分が楽しむ」がモットー。傘寿を迎え、地区代表になった今でも講師として教壇に立つ。自らが考案し、電磁石をテーマにした「紙コップヘッドホン」は定番の人気講座のひとつだ。教える先の子もたちに思いを馳せ、何より自分自身が工作を楽しんで。活動の原点は今も昔も変わらない。

1 機械学習とは？

コンピューターが自律的にデータから洞察を導き出す機械学習。詳しい解説はこちら。

SAS Institute Japan

2 定年後経験を活かし

大手企業や官公庁、ベンチャー企業や個人事業主など多様な役者があなたの知見を持っています。

株式会社ビザスク

あっとほーむデスク

5月4日0:00更新

4月27日0:00更新

4月13日0:00更新

[藤沢版のあっとほーむデスク一覧へ](#)

イベント

[一覧へ](#)



山内病院で看護フェス

市民健康講座も開講

5月12日

[藤沢版のイベント一覧へ](#)

[最近よく読まれている記事](#)